

(その四)

工場又は事業場の名称	日鐵ドラム株式会社 千葉工場
------------	-------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
<input checked="" type="radio"/> C	目標年度の目標の達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

総量で見た場合、「平成20年度自主的取組計画書」の平成20年度計画値240ト/年(対12年10%増)に対し、実績値は190ト/年(対12年15%減)の削減を達成したが、ドラム1本当たりで見た場合、平成20年度計画値144.0万本/年に対し、実績値111.2万本/年と大幅に生産が減少した。平成12年度の1本当たりのVOC排出量は、163.9g/本であったが、平成20年度の1本当たりのVOC排出実績を見ると、152.9g/本になり、ドラム1本当たりで比較すると対12年7%の削減実績となった。

今後の課題と対策

近年の不況により、現在底打ちの状態であり、弊社内でも工場間のミル移管等を計画している。今後の生産回復及びミル移管により、当初計画の生産量を大幅に上回る可能性があり、操業条件等の見直しでは達成が困難である。よって処理装置による削減を迅速に検討する。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。